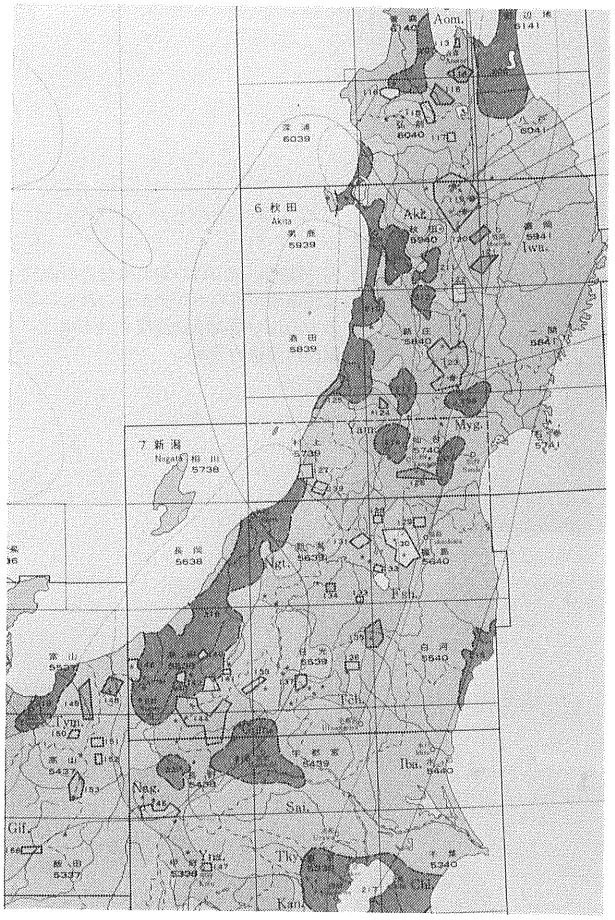

日本の既知の地熱資源賦存地域の分布と　これに各地域の探査の進捗度（昭和55年3月31日現在）　熱源としての第四紀火山・地殻熱流量の分布　ならびに滞水盆としての新第三紀地質構造区分布が併記されている．　ここでいう地熱資源とは熱水対流系資源（いわゆる火山性のもので　新期火山のマグマ溜りを熱源とするもの）と深層熱水資源（いわゆる非火山性のもので　熱は地殻熱流量に依存するもの）とをいい　高温岩体　マグマなどの未知の資源は含まれていない．記載されている賦存地域は熱水対流系については85地域　のべ13,108km²　深層熱水資源については26地域　のべ 38,550km² である．　探査の進捗度は探査未着手　予察調査中　地表探査中　地下探査中および開発中または既開発の5段階に分けられている．　また地熱資源賦存地域の選定規準も記載されている．

日本の地熱発電は現在約17万kwまで成長しているが　国策としては昭和65年度350万kWが目標とされている．　10年間に20倍増という　この大目標には適切な地域選定が必要である．　当面　熱水対流系資源が地熱発電の主役であり　その為には熱源分布と貯留構造との両面からみた地域選定が望まれる．　本図はその為に作られたものである．

本図は国連新・再生エネルギー会議に向けての地熱パネル（本誌 No. 314 参照）第2回会議（1980年11月3～7日　ジュネーブ）に提出された．　外国のこの種の図としては　下記の米国およびインドネシアのものがあるが　他の国ではまだ準備中の段階である．

GRIM, P. J. and BERRY, G. W. (1979) : Geothermal Energy in the Western United States. National Oceanic and Atomospheric Administration.

PURBO, M. M. and HADIWIDJOJO (1970) : aTentative Map of the Prospective Geothermal Areas of Java and Bali. Geological Survey of Indonesia.

200万分の1地図編集図の新刊

No.20

日本地熱資源賦存地域分布図

DISTRIBUTION MAP OF KNOWN GEOTHERMAL FIELDS IN JAPAN

200万分の1地質編集図
地域地質研究報告

編　集　角 清愛・高島 勲

発　行　工業技術院　地質調査所

取扱先　東京地学協会　(03)261-0809　262-1401

地質ニュース　第318号　2月号
定価 ¥500　〒実費
昭和56年2月1日　発行
編集　工業技術院　地質調査所
発行人　林　久　雄
発行所　株式会社　実業公報社
東京都千代田区九段南4の2の12
Tel.　(03) 265-0951(代表)
振替口座　東京　32466
総発売元　大蔵省印刷局　政府刊行物仕入部
東京都港区赤坂葵町2
Tel.　(03) 582—4866

© 1981 Geological Survey of Japan